



🌀 運動会練習が始まります 🌀

運動会まで、あと約2週間になりました。来週の月曜日(5/12)からは、いよいよ全校練習や学年練習が始まります。

ところで皆さんは、日本の運動会はいつから存在しているかご存じでしょうか。今回は、『日本の運動会の歴史』についてご紹介します。

日本で初めて行われた運動会は、1874年に東京築地の海軍兵学寮で開催された「競闘遊戯会」として行われています。

当時の日本にはスポーツという概念がほとんどなく、海軍兵学寮の授業は座学ばかりだったため、学生のストレス発散のための運動として行われました。

1878年には、札幌農業学校で「力芸会」が開催され、教育の一環としてのプログラムが取り入れられました。現在でもよく行われる二人三脚や短距離走、障害物競走、食菓競争（現在のパン食い競争）などは、このころにはすでに行われていました。

1881年には、東京・神田の体操伝習所で「体操術演習会」が開催され、個人競技だけでなく、綱引きや球技などの団体競技も重視されるようになりました。

運動会は、明治時代から代々引き継がれてきた伝統イベントであり、その目的は、心身鍛錬や集団訓練から『人と人を繋ぐイベント』へと変化しています。

運動会の長い歴史を知り、皆さんの運動会も『人と人を繋ぐイベント』になるよう、クラスで団結して頑張りましょう。

👟 各クラスの練習の様子 👟

全体練習に先立って、体育の授業では「全員リレー」と「大ムカデ」の練習が始まっています。毎回タイムを計測して、次は1秒でも縮めようとクラスで協力して頑張っています。1回目のタイムから、本番はどこまで縮められるか楽しみです。下の表では、各クラス1回目のタイムをご紹介します。

	全員リレー	大ムカデ（男子）	大ムカデ（女子）
A組	8分18秒	4分25秒	4分08秒
B組	8分19秒	7分43秒	1分59秒
C組	8分07秒	2分01秒	4分16秒
D組	8分10秒	2分48秒	2分16秒
E組	8分10秒	2分01秒	2分59秒

